

ら出て、南の空高くのぼり、西の空にしずみます。しずむ場所、太陽の高さ、昼の長さの変化の関係がよくわかります。夏至のころには、地上を照らす角度が高いため夏が暑く、冬至のころには昼の長さも短く、地上を照らす角度が低いため、冬が寒いことがわかります（実際は地面の保温等により、最も暑い時期と寒い時期は夏至・冬至より1ヶ月程度ずれます）。

逆に考えると、太陽の動きから季節を知ることができます。例えば、太陽が一番北にかたよって昇る日を調べれば、その日が夏至ということになるわけです。昔の人は太陽を観察し、季節による変化を知っていました。例えば、イギリスのストーンヘンジは大きな石が円をつくるように並べられたものです。今から4000年近くも前にできたものですが、夏至や冬至の日に太陽がある石の上から見るとちょうど他の石の上に見えるように建てられています。当時の人はストーンヘンジで季節を確認したのでしょうか。（渡辺 誠）



イギリスのストーンヘンジ



富山市科学文化センター

富山市西中野町1丁目8番31号（〒939）

電話 富山（0764）91-2123（代表）

昭和63年3月1日発行

富山市科学文化センターでは、星空のテレフォンサービスをしています。
いろいろな星のお話が聞けます

TEL.（0764）31-0199

・3月18日の10時8分から12時35分まで 日食が起ります。